

●退職のご挨拶

松本 光正

今年3月末で退職いたしました。工芸高校での4年間、皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。工芸高校に勤務して感じたことは、先生方や生徒が実習をはじめとして、工芸祭などの教育活動にひたむきに取り組んでいることです。このことは、生徒が制作する作品にも表れています。3月に東京都美術館で開催された卒業制作展(全)では、精進の中での個性あふれる作品が展示されており、来展していただいた方に創造性のきらめきを感じとっていただいたと思っております。

本校は、2年後の平成29年度に創立110周年を迎えます。東京フォーラムで開催された100周年記念式典では、私は他の工業高校の校長として出席させていただき、伝統の重みと卒業生の厚みに感嘆しました。今後も、日本を代表する工芸・デザインの学校として、益々の学校の発展を祈念いたしております。

●二年目を迎えて

会長 桜井 洋一

会長に就任して2年目を迎えました。就任以来、今日まで何とかやってこられましたのも理事の皆様をはじめ、工芸高校の校長先生、会員の皆様のご指導とご支援のお陰と感謝いたしております。

松本校長先生が3月に退職されました。校長先生には同窓会に対して大変ご支援いただきました。心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

また、新たに就任されました鳥屋尾校長先生には、同窓会へのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

さて、昨年1月の就任のご挨拶で、築地工芸会は都立工芸高校の良き伝統を守るとともに、新しい時代に対応していかなければならない、そのために若いOBや女性の参加を呼び掛け築地工芸会のさらなる発展を目指したい、と述べました。先ず1年目は若い会員、女性会員に呼び掛け、理事会に参加していただくことから始めました。この

1年間で6名の若い会員に理事に就任していただきました。その内3名は女性です。理事会の開催日も若い理事さんが出席しやすい日時を検討しています。この若い理事さんに中心になっていただき、2年目は若い会員に築地工芸会の活動に参加していただくことを働き掛けていきたいと考えています。

同窓会の活動、運営についてもいくつか刷新を試みました。ひとつは、前回もご報告しましたが、皆様からの会費の振込を、忙しい若い会員が便利ないように、従来の郵便振込に加えて、コンビニからも振り込みができるように、システムの変更を検討しています。これは本年9月からの実施を目指しています。

にアピールできる記事を書いてくださることと期待しています。

今まで述べましたことも、これから私に与えられた時間で一生懸命努力し、次の会長さんに引き継ぎたいと思っています。そのためには理事さんをはじめ、会員の皆様のご支援がなくては叶いません。これからもご指導下さいますよう、お願いいたします。

次に、皆様も母校1階にOBの作品を展示した展示ケースがあることをご存じと思います。現在、展示替えはあまりされていませんが、この4月から6か月交代で各科の展示をすることにしました。4月からはデザイン科が展示をスタートします。新しいOB展示が在校生にとって勉学の励みと目標となり、また、一般来校者の方々に工芸を理解していただく有意義な場になると考えています。

皆様にお送りしているこの会報の編集委員にも今年の1月から若い女性に加わっていただき、1月発行号から早速インタビュー記事を執筆していただきました。これからも若い会員の皆様

<p>プラスチック 金型製作</p>	<p>真空成型型 プレス抜型</p>	<p>圧空成型型 トムソン抜型</p>
<p>企画デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ</p>		
<p>V.MOLD バキュームモールド工業株式会社</p>		
<p>本社・〒131-0031 東京都墨田区墨田5-23-11 tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559</p>		<p>-詳しくはホームページで- http://www.vmold.co.jp/</p>
<p>埼玉工場・〒340-0831 埼玉県八潮市南後谷107-5 tel 048(932)5440 fax 048(932)3960</p>		<p>e-mail caduser@vmold.co.jp</p>

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

昨年12月10日以降、本年3月20日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

日置雄毅、勝矢重利、内藤亮一、川津敬介、五十嵐賢治、小町行三、年見昭彦、関根伸司、中荻久男先生、服部綾佳、田中和夫、丸山士郎、石井清一、

金子満、関根恵、岩堀英太郎、浦野至誠、村田勉、堀勝美、田中秀、五十嵐智則、菊地和浩、田代智隆、橘正春、猪俣新治、伊藤早苗、田原賢一、桑原満、石川孝史、小宮富士夫、高橋則弘、山林愛実、谷森隆三、佐野一義、大野武夫、小林広季、安井輝之

◆理事会より

F・I科の新理事に平成19年卒・南部彩夏氏が推薦され、承認されました。

●母校 平成26年度卒業式

平成27年3月13日(金)10時より東京都教職員研修センター視聴覚ホールにおいて卒業式が行われ、全日制175名、定時制82名、合せて257名の生徒が卒業しました。卒業生、ご父兄の皆様、本当におめでとうございます。

また、卒業式の後、日本教育会館・喜山倶楽部において「卒業生を祝う会」が催されました。

築地工芸会を代表して、桜井会長が出席され祝辞を述べました。

訃報

前回の会報163号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。()内は逝去された日です。

- 小池 正胤氏 元国語教員(26・1・26)
- 中荻 久男氏 元D科教員(27・1・16)
- 岩堀英太郎氏 昭12・P卒(20・2・17)
- 東瀬野武雄氏 昭15・M卒(26・4)
- 須永 栄一氏 昭16・A卒(26・12・20)
- 遠藤 博道氏 昭17・P卒(25・8)
- 廣本 貫二氏 昭21・A卒(26・2)
- 永江 清一氏 昭24・F卒(26・12)
- 橋迫 信夫氏 昭25・P卒(26・11・10)
- 工藤 行輝氏 昭26・P卒(26・2・11)
- 小野 尚士氏 昭29・M卒(24・8・27)
- 長井 浩氏 昭30・M卒(26・9・26)
- 鈴木 保正氏 昭30・M卒(26)
- 石野 康治氏 昭30・P卒(26・3・16)
- 藤本 忠雄氏 昭30・D卒(26・4)
- 吹野 長年氏 昭32・M卒(25・7・10)
- 萩原 道弘氏 昭32・M卒(26・2・4)
- 佐藤 豊熙氏 昭32・M卒(26・10・22)
- 伊藤 竜氏 昭32・M卒
- 和田 弘氏 昭32・F卒(26・3・3)
- 佐野 邦雄氏 昭32・D卒(27・2・21)
- 高井 芳雄氏 昭43・F卒(26・12)

「投稿を歓迎します。」

郵送先・築地工芸会(工芸高校の住所)
メール送付先: taquya@nifty.com

第43回伝統工芸日本金工展で

+21金工部会賞を受賞した

藤原 優貴さん

(平成23・A卒)

平成23年A科卒業の藤原優貴さんは、第43回伝統工芸日本金工展において、30歳未満の若手作家の奨励を目的として新設された「+21部門」で、見事に「+21金工部会賞」を受賞しました。藤原さんに受賞作品の解説と、これからの夢を語っていただきました。



蟹脚小箱 (カニ缶)

蟹脚小箱(カニ缶)は、去年卒業した山脇美術専門学院の三本ロールという授業で作った作品でした。三本ロールとは、金属の板を筒状に丸めることのできる機材です。山脇の授業では、デザインを自分で考えるところから始

まります。缶、というモチーフがまづかわいいと思いい、最初サバ缶やツナ缶などを考えていました。しかし、デザインを練っているうちに見づらいうべの部分に装飾を入れるより、ぱつと見て目がいくデザインの方がいいのではないかと思いい、最終的に蟹が自ら蓋をこじ開けて外に出ようとしているこの形に収まりました。

単純に綺麗な色、形の作品も好きなのですが、使う素材が銅ということもあり、遊び心の強いデザインとなりました。

また、カニの脚は、2年生の時の授業で教わった緋銅という技法を使っています。緋銅の真っ赤な色がとても印象的で他の授業でも使いたいと思っていたのと、銅の色の中に少し華やかさを出したいと考えていたため、この作品に用いました。

蓋の賞味期限のところには、私の生年月日、イニシャル、作った時の年齢が代わりに刻印してあります。将来これを見て、この頃私はこんな物をつくっていたのか、と昔を懐かしんで振り返られたらいいなと思っています。

カニ缶は今まで自分の作ってきた物の中で気に入っている作品ではありましたが、まさか賞を頂けるとは思っていなかったもので、+21という有り難い賞を頂きとても驚きました。新しくできたと若手のみを対象とした部門ではありますが、伝統工芸を学んでいる人なら

誰もが知っている有名な展覧会で名前を残す事ができ、凄く自分の財産になったと思っています。

現在私は山脇を卒業し、ジュエリーのOEM(他社から依頼された製品を作る仕事)の会社で働いています。まだまだ職人としては未熟で、暫くは創作活動はせず仕事での技術の向上に専念するつもりです。学校を卒業してしまふと使える機材も限られてくるため、まだ創作活動を再開する予定は立っていませんが、教わってきた先生方の展示や同級生の有志展などを見に行く機会があると、また自由に制作したいという気持ちが沸いてきます。伝統工芸ではないかもしれませんが、自分に余裕ができた時にまた何か創作活動をしたいです。



また、日々の小さな目標はありますが、先の未来はまだよく想像できてい

ないので、働く中でこれからの夢を見つけていきたいです。



制作中の藤原優貴さん

福本さんの思い出

渡邊 賢一 (元M科教員)

昭和63年に工芸に異動する前は都の教職員作品展(彫刻部門)に仏像を出品してあります。

工芸の先生が彫刻だけの全国的な創型展があるから、出品してみたらたのお誘いがあり、その会には工芸卒の福本さんが活躍されているとのこと。

1991年(平成三年)第40回の創型展に等身大の愛染明王を出品したところ、会場で福本氏がジーンとみていて、いきなり弓の弦(畳糸を使用)をはずしなさいとのこと、折角作ったのにと……次の年に広目天(等身大)を出品した時は、円光背(着色)は無い方がよいとのこと。ある人の作品では笛(赤く着色)を吹いている作品を見て、クレームをつけていた。この人は、なんとという人だろうと思った。……本体に着色してないのに、そこだけに目がいき違和感があるとのこと、また白い弦は古い仏像には合わないとのこと。錆びた針金ならOKだったかも……大きなお釈迦様を彫られた作品を見て、本人の前で一言、貧乏くさい顔をしているといい切った。

全てこのように、一つ一つの作品を腰をぐっと引き、作品と真剣勝負をしている姿が思い出されます。「良いものは良い」「悪いものは悪い」と言い

宝石・石止全般
株式会社 **タカギ彫金工芸**
代表取締役 **高木 実**
(A・48卒)
〒111-0054 台東区鳥越 1-23-5
電話(03)3866-0961(代)

切れる審美眼をお持ちで真摯に彫刻に向き合い、こだわり続けておられました。沢山の作品を作られ、苦勞された方だからいい切れるのでしょうか。

また、あるとき先達者を車椅子で作品群を案内している優しい姿がありました。

奥様からいただいた手紙に『……彫刻イコール人生の人で、その道をまっすぐに生きることしかできない人でした……』と書いてありました。

創型会にとり大きな大きな痛手です。25年間お付き合いさせて頂き大変勉強になりました。

昨年は審査員の一人として福本氏と一緒に仕事が出来たこと、光栄に思っております。

ご冥福をお祈りします。

支部だより

●中京工芸会節分会開催

恒例になりました「中京工芸会節分会」を、2月3日(火)17時30分名古屋料亭「大森」にて開催しました。「女将」「若女将」の変装行事に合わせ、役員会を兼ねて開催しています。今年も女性会員にも加わって頂きました。

今年秋の第52回総会を左記により開催することを確認しました。

日時・10月18日(日)13時
場所・名古屋料亭「大森」

会員の方には別途案内をお送りしますが、今直ぐ、予定に入れて頂きたいと思えます。

本部の築地工芸会の御支援を頂き、中京工芸会も頑張っています。

中京工芸会副会長

五反田 稔(昭和35・M卒)



中京工芸会節分会

都立工芸時代の思い出

(第2回)

池辺武彦 (昭和27・F卒)

工芸在学期間は6年間の楽しい青春時代を過ごし思い出多き時代でした。昭和24年4月から図案科が新設され仲良しの友人が数名別れて行き第1期生となりました。この間は女子の居ない男子校で、演劇部で芝居をする時は、どこから先輩部員が調達して来て何とか芝居になっていました。

昭和20年8月15日の終戦は宮城県鳴子温泉の学童疎開中でその時までは来春には陸軍兵器学校を受験するつもりで勉強していました。

元来勉強は嫌いで、予習復習などの縁遠い生活、毎日が楽しくれば満足でしたが、成績もそんなに悪くなくて、副級長を二度いたしました。

もともと物を作る事は大好きで、手先は器用な方でしたので母親はそれを見込んで進路を決めたのでしょうか？

母は珍しく入学式に付いて来たのです。帰りに後樂園の庭園内の満開の桜の下で昼食をしました。そのうまかったこと、今も忘れません。

父は普通の中学に行かせたかったでしょう。学校の行事などに一度も来てはくれませんでした。創立40周年記念工芸祭も在校中の出来事

● 校友の活躍

dddギャラリー企画展

永井裕明展

(昭和51・D卒)

大阪より京都市太秦に移転、新装なったdddギャラリーで1月16日～3月31日の会期で開催されました。昨年のギンザ・グラフィック・ギャラリーの展示をシンプルにまとめ見応えがあり、会期中3回ギャラリートークが行われました。私は2月13日の会に参加、永井裕明さんのトークから作品制作のコンセプトや情熱が伝わりその魅力を再認識しました。

君島 昌之 (元D科教諭)



2月13日ギャラリートークでの永井裕明さん(左)

● OB展示スペース

リニューアル

昨年11月の理事会において、母校1階のOB展示スペースをリニューアルすることが決められ、2015年4月からD科OBの作品が展示されました。D科では、次の方に作品を提供していただき、展示しました。(敬称略)

- ・グラフィック…副田高行、永井裕明
- ・プロダクト…福田哲夫、山岸政彦
- ・パッケージ…狩野浩之
- ・漫画…羽海野チカ
- ・エディトリアル…小泉弘
- ・アート…秋山祐徳太子
- ・染織…松原伸生

D科の作品は6か月間展示され、以降、6か月毎に、A科、F・I科、P・G科、M科の順で展示されます。ご期待下さい。



リニューアルされた展示の前でD科の展示関係者

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064
東京都千代田区猿楽町2-8-16
平田ビル8階
電話 03-5577-3025
FAX 03-5577-3027
Email nakayama@ifpat.gr.jp

PLANNING CENTER STATION.M
有限会社ステーション.エム

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

技術資料の制作

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

で、あの時も工芸生の自分を誇らしく思いました。

運動会も各科のデコレーションが華やかに校舎を包み、水道橋の駅を通過するJRの電車からも都電の窓からも良く見えたと思います。

築地にあつた校舎は関東大震災で消滅したので、水道橋の新校舎は廊下もコンクリートのテラゾウ仕上げ(人工大理石)でした。

中庭にテニスコートが有り、朝礼も雨の日以外は毎日其処でした。

各科の実習工場も今思うとかなり充実していました。

秋の運動会は各科の応援席の後ろに、校舎を隠す高さ、横幅も一杯に装飾が施され、その前で、声を限りの大声を發したのも思えば古い昔の67年以上も前の事です。

木材工芸科に入学し、設計製図の島田重義先生は関口台町小の第1回卒の大先輩でその先生が担任でラッキーでした。

当時の工芸の先生方はみな個性の有る面白い有意義な授業内容でした。

科長の熊井七郎先生は木工材料、塗装は坂田秀太郎先生、木材工作法は吉見誠先生、糸鋸ミシンは橋本義雄先生、彫塑は山本金三郎先生、実習は曾田先生で、担任は印刷科卒の松井章先生(化学)と曾田先生に替わり卒業まで同じでした。

● クラス会

● 東芝万年会 平成26年度総会開催

平成26年11月19日(水)に川崎日航ホテル内「うおや一丁」にて東芝万年会の総会を開催致しました。

今回は9名のご参加をいただきました。当日は川崎駅に集合し、川崎ラゾーナ東芝ビルに開設された東芝未来科学館を見学しました。現役時代に担当した製品などに接し、その当時の思い出に浸り、話題に花が咲きました。

総会では会長の室谷さんの乾杯の音頭でスタートしました。参加された方のそれぞれの近況やトピックス等の紹介で盛り上がりました。

昨年の穂積さんの急逝後の初めての総会ですが、皆様の強い継続意識を確



東芝万年会 平成26年度総会

認致しました。

閉会後都合のつく方がさらに場を変えて語られました。最後に来年もまた、元気に再会することを約束してそれぞれに帰途につきました。

(幹事 昭和38・D卒 松本 孝)

● 昭和29年定時制M科卒 クラス会開催

昨年12月6日、都立向島百花園で恒例の忘年会を開催しました。一昨年の後楽園に続く都立庭園シリーズで集っております。

今回は近年にない14名の参加となり、盛り上がりました。ただ近況報告は病気の話ばかり、「機械(M)」の話は一切なし。もつともガラケイばかりでスマホを持っているのは一人もいませんでした。

(田嶋 照郎)



昭和29年定時制M科卒 クラス会

● 昭和39年全日制A科卒

日展見学と田中照一氏4回目の個展

11月24日、国立美術館で行われた日展へ、安原敏郎先生と出品されている同級生の田中照一氏の解説で見学し、その後懇親会を行いました。

12月13日、日本橋三越本店で、田中照一氏の4回目の個展に伺い多彩な作品を見ることができました。

先生の案内で日本橋裏路地の割烹店でお茶をいただきながら先生に色紙で昼食後、新しくできた「コレド室町」

書いていただき散会しました。今年には安原先生90歳、私達が70歳になりますので、お祝いの会を予定しています。

(坂巻 亨)



昭和39年全日制A科卒

● A科同窓会レポート

7年振りにA科同窓会を3月28日(土)学校で催しました。櫻井築地工芸会会長、並びに今年卒業を迎える安原先生、また牧田先生、井上先生のご参加をいただき、上は80代から昨年卒業の若者まで271名での楽しい3時間を同級、先輩後輩入り乱れてあの時のA科に戻って話の輪が広がりました。改めて「工芸生で良かった」とみんなが実感した一日でした。大きな特徴は昭和卒113名、平成卒158名、赤ちゃんやお子さん連れのお母さんも含めた女性が64%だった事です。Ice bookにアップされた書込みには「自分たちの科でもやりたいな」といくつも有りました。この輪が各科に広がるともつともっと素晴らしいと思います。

(神山 隆夫)



赤ちゃん、お子さんを連れてお母さん参加者

母校だより1

全日制

ART CRAFT

ヒコみづのジュエリーカレッジ高校

生デザインコンテスト

ストーンマーケット賞

2年 岡部実生

ジュエリー部門 審査員特別賞

2年 堤和花菜

ジュエリー部門 準グランプリ

2年 片山美麗

ジュエリー部門 佳作

2年 川井ゆり子、秋本風香

1年 梅原菜鈴、古谷美保、遠藤零

●第5回どくしょ甲子園(朝日新聞社)

奨励賞

2年 汲田日向子、宇津木咲重

岡部実生、川井ゆり子

MACHINE CRAFT

●ジュニアマイスターゴールド

2年 柴崎桂輔、渡辺みのり

●ジュニアマイスターシルバー

3年 田嶋美沙

2年 川上弓輝、野村 玄

久保田裕之

●第71回計算技術検定

1級合格

2年 川上弓輝、川本桃子

久保田裕之、柴崎桂輔

野村 玄、渡辺みのり

●リスニング検定

1級合格 2年 柴崎佳輔

コンクール等の入賞者・成績

INTERIOR

●建設系高校生作品コンペティション

2014

会長賞 3年 橋本多門

最優秀賞(製図部門)

3年 佐々木香乃

最優秀賞(家具部門)

3年 前田朱里

審査員特別賞(製図部門)

3年 須貝なな子

審査員特別賞(家具部門)

3年 三宅彩加

CC-1東京特別賞(模型部門)

3年 山崎夏菜

CC-1東京特別賞(家具部門)

3年 半田由衣

GRAPHIC ARTS

●警視庁非行防止啓発ポスターコンク

ール

最優秀賞 3年 河合結奈

優秀賞 3年 伊東あおい

林 綾乃

●第58回全国学芸サイエンスコンクール

旺文社赤尾好夫記念賞(入選)

3年 大久保杏華

●第8回メディア・ユニバーサルデザ

インコンペティション

優秀賞 3年グループ

伊藤徳敏・中沢利樹・富安柚衣

重岡あすか・木村眞子・松川菜々

●OAC学生広告クリエイティブアワ

ード2014

OAC奨励賞 3年 河合結奈

●第12回NHKミニミニ映像大賞

ファイナリスト

3年 吉葉美桜、河合結奈

DESIGN

●緑化運動ポスター原画

入賞 3年 藤田美優

●文京シビックオペラチラシデザイン

イラスト採用 3年 大田 晴

●(冊子)『翔』専門高校生徒体験発表

文・作文・研究文集

表紙原画作成 3年 新橋由季也

●高校生デザインコンテスト2015

ジュエリー部門・審査員特別賞

2年 小島彩加

●レタリング技能検定

1級優秀賞 3年 田邊香奈子

2級優秀賞 2年 岩井香寿奈

定時制

●高校生デザインコンテスト2015

バッグ部門 審査員特別賞

3年・G 平沢 繪子

シューズ部門 審査員特別賞

3年・G 1名

●第28回パソコン利用技術検定3級合格

1年・A 近藤美香、高橋絵莉花

高橋朋美、徳永莉櫻

豊蔵眞琴、野崎瑞夏

星 彩月

「パドミントン部」

●東京都定時制通信制大会(新人戦・

シングルス)

2位 1年・G 千葉桂子

3位 3年・A 藤田太一

広告制作会社 たきグループ グループ創業者 滝澤方美 D3(昭29)

(株)たき工房 (株)たきホールディングス (株)日本コマースフォト
(株)プラン (株)ワークアップたき (株)インパクトたき (株)たきC1 (株)タクト



株式会社たき工房

本社:〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル14F TEL:03-3524-1351(代) URL:http://www.taki.co.jp

i用各種タイバーカッター

各種専用機 設計製作

(有)神戸自動機製作所

代表取締役 神戸 道夫
定M13(昭36)

〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127

母校だより2

母校人事

平成27年度を迎え、4月1日付で次の人事異動がありました。

退職、転任された先生方には熱心に後輩のご指導を頂き、本当に有難うございました。事務部門の先生方には本会の運営面でも大変お世話になり感謝しております。

就任された先生方、後輩のご指導と、同窓会をよろしくお願い致します。

○退職(敬称略・順不同)

- 松本 光正 校長(退職)
- 矢萩 章夫 数学(退職)
- 真鍋 穂文 化学(退職)
- 菅原まゆみ 英語(退職)
- 神山 隆夫 工業(工芸系)(退職)
- 片岡 礼二 保健体育(退職)

○転任(敬称略・順不同)

- 谷津 雄亮 保健体育(墨田工業・定昇任)
- 竹生 深雪 倫理(八王子北・全)
- 隅田 秀典 世界史(日本橋・全)
- 瀧川 厚 工業(中野工業・定)
- 樽味 浩一 工業(小金井工業・定)
- 岡島 和代 工業(総合工科・全)
- 西 慶悟 物理(上野・全)
- 伊豫田可奈子 化学(城東・全)
- 小林 克哉 工業(工芸)(蔵前工業・全)

- 内藤 和明 工業(六郷工科・定)
- 穂積 広信 工業(北豊島工・定)
- 打道 隆 行政職員(一橋高校)
- 阿部 由香 行政職員(東部経営支援センター支所、支所支援室) 昇任
- 坂田 祐記 行政職員(東部支援センター管理課経理二係) 昇任
- 渡辺 聖也 行政職員(浅草高校)
- 豊島 裕美 行政職員(高島特別支援校)

○就任(敬称略・順不同)

- 鳥屋尾史郎 校長
- 樋口 信彦 保健体育(浅草・定)
- 池田加久夫 倫理(江戸川・全)
- 鈴木 智和 世界史(青井・全)
- 沼田 千佳 工業(工芸)(町田工業・全)
- 大久保雅章 工業(機械)(総合工科・全)
- 中根 順造 工業(工芸)(六郷工科・全)
- 佐藤 恭一 工業(北豊島工業・定)
- 矢萩 章夫 数学(工芸高校・全)
- 真鍋 穂文 化学(工芸高校・全)
- 菅原まゆみ 英語(工芸高校・全)
- 飯島 栄一 物理(竹台・全)
- 白川 武史 化学(松原・定)
- 大山 将吾 保健体育(上野・全)
- 山口 哲也 工業(建築)(田無工業・全)
- 北川 恵子 工業(町田工業・全)
- 平山 泰信 工業(六郷工科・定)
- 小島 歳子 行政職員(葛飾商業高校)
- 高島 克文 行政職員(新宿山吹高校)
- 青木 幹男 行政職員(江東区立東小岩小学校)
- 伊藤 弘美 行政職員(本所高校)
- 田中 和美 行政職員

- 藤岡 春香 行政職員
- 中澤 愛美 行政職員

●2015卒展

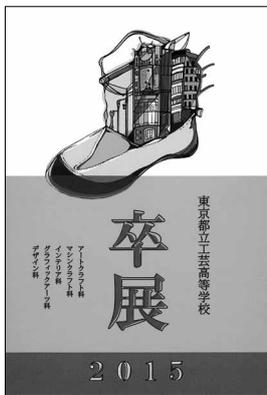
2015年3月4日〜7日、東京都美術館(上野公園内)において、300人近い来場者を迎えて母校の「2015卒展」が開催されました。

A科・M科・I科・G科・D科の3年間の勉強の成果が一堂に展示された様子は、OBとしても誇らしく感じられる素晴らしい展示でした。

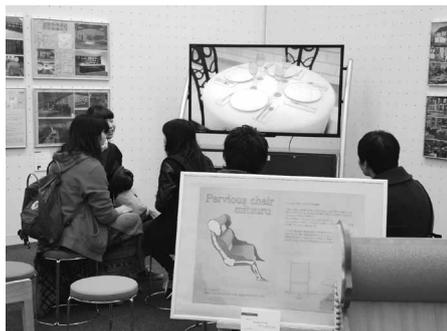
会場では卒業を控えた生徒が一生懸命に作品を解説し、アピールしている姿が印象的でした。また、各科の先生方が教え子たちの晴れ舞台を、控えめに見守っておられた姿もほほえましく映りました。

作品は年々、専門的なレベルが高まっていると感じました。また、映像を駆使したプレゼンテーションも展示効果を高めていました。

築地工芸会の桜井会長も早々に会場を訪れ、熱心に見学されていました。



DMイラスト：D科・櫻井くるる



展示には映像も駆使されて効果を上げている



たくさんの来場者で賑わう展示会場



卒展会場受付
見学に訪れた桜井洋一会長